

おんだんか つよ ひんしゅ さいばいほうほう かいはつ 温暖化に強い品種や栽培方法の開発



見てみましょう。

温暖化に強い品種

水稻では、高温になる
と米粒が白く濁る障害が
発生して、品質が低下
することが問題となっ
ています。これまでに、
暑さに強い品種として、
「にこまる」、「こしいぶ
き」、「ふさおとめ」など
が開発されています。こ
れらの品種は米粒の白濁
が発生しにくい優れた



地球の温暖化がニュースなどで話題になっています
ね。最近、日本の作物でも、高温によって収量や品質
が落ちるなど、地球の温暖化によると考えられる影響が、
全国各地で見られるようになってきました。この問題に
どのように取り組んでいるのか、水稻とミカンについて

特徴を持っています。

ミカンでは、高温と多雨によって、実と皮の間に隙間
ができる「浮皮」が発生して、品質が低下することが
問題となっています。これまでに「たまみ」や「せとか」
など浮皮が発生しにくい品種が開発されています。

温暖化に強い栽培方法

水稻では、米粒の白濁の発生を減らす栽培方法とし
て、(1) 稲が実る時期の高温を避けるために、田植えの
時期を遅くする方法、(2) 肥料の与え方を工夫する方法な
どに取り組まれています。ミカンでは、浮皮の発生を減
らす栽培方法として、(1) 余分な水分を蒸散させるカルシ
ウム剤を与える方法、(2) 植物が本来持っている植物ホル
モンを与える方法、(3) 余分
な果実をとる（摘果）時期
を遅らせる方法などに取り
組まれています。

このほかにも、麦、
果樹、野菜、牧草などの多
くの作物で、温暖化に強い
品種を作ったり、新しい
栽培方法を見つけるための
研究が進められています。

